

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型） 米ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース 設定来の運用状況について

2015年6月23日

平素は、「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）」各コースをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの設定来の運用状況について、お知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

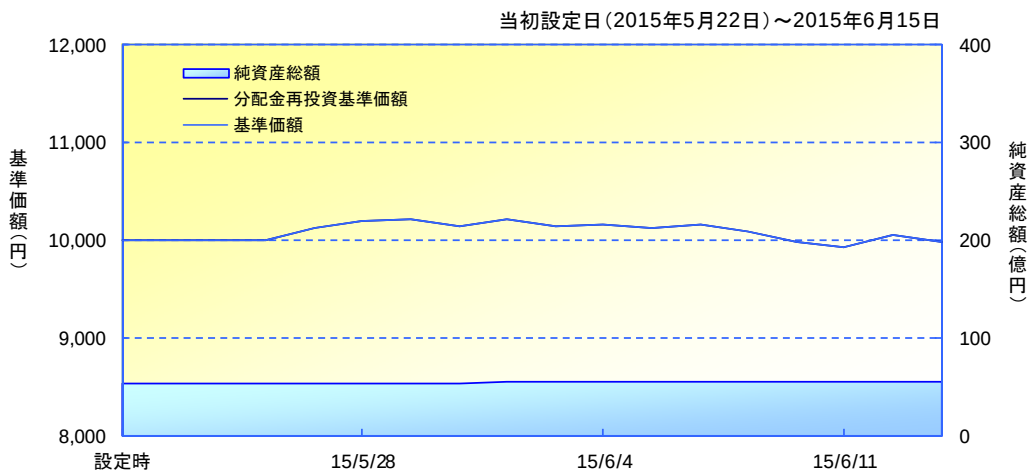
【米ドル・コース】

2015年6月15日現在

基準価額	9,972 円
純資産総額	54億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	----
3カ月間	----
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	-0.3 %



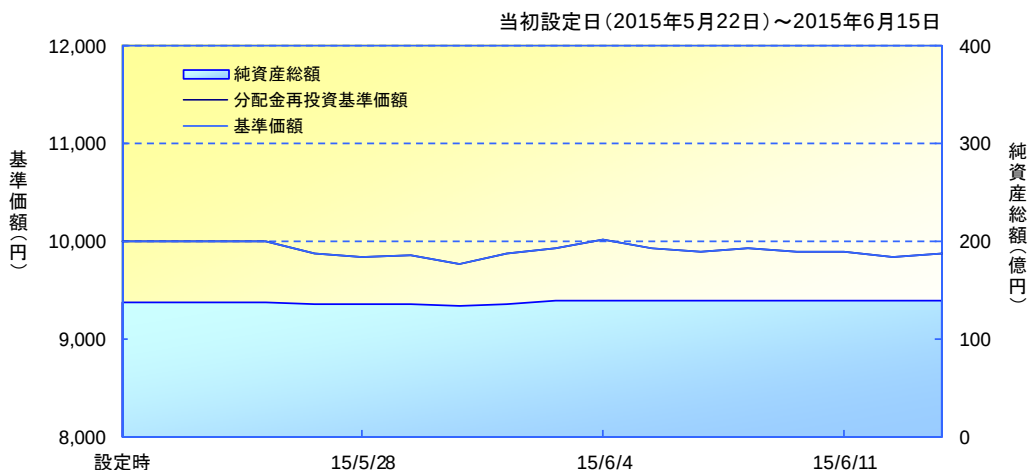
【ブラジル・リアル・コース】

2015年6月15日現在

基準価額	9,861 円
純資産総額	138億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	----
3カ月間	----
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	-1.4 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

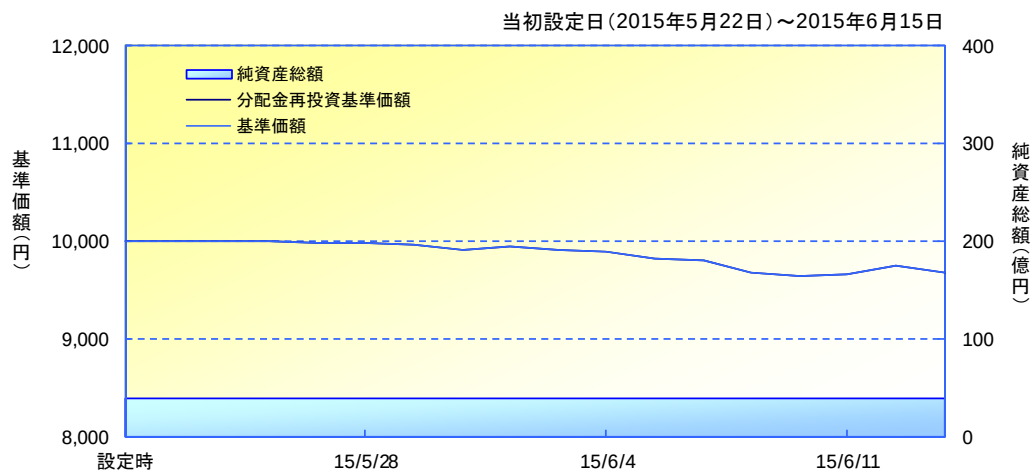
販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【通貨セレクト・コース】

2015年6月15日現在

基準価額	9,661 円
純資産総額	37億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-----
3カ月間	-----
6カ月間	-----
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	-3.4 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

主要な資産の状況については、次頁をご覧ください。

《ミレアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド(各クラス)の資産構成》

※以下の資産構成は、ミレアセット・グローバル・インベストメンツ・グループの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
株式	63	93.3%
現金等		6.7%
合計	63	100.0%

ポートフォリオ特性値	
配当利回り	2.9%
※配当利回りはミレアセット・グローバル・インベストメンツ・グループが算出したものを表示しています。	

カバードコール戦略	
株式オプション	
カバー率	82.0%
オプションプレミアム(年率)	6.4%
※カバー率は、組入株式等の時価評価額合計に対するオプションの想定元本額の比率を表示しています。	
※オプションプレミアムは、カバードコール戦略構築時において決定したプレミアムを年率換算したものを表示しています。	

国・地域別構成		合計93.3%
国・地域名	比率	
アメリカ	53.4%	
香港	19.0%	
フランス	8.2%	
ドイツ	6.3%	
オーストラリア	2.7%	
スイス	2.5%	
オランダ	1.1%	

※「国・地域別構成」の分類は、ミレアセット・グローバル・インベストメンツ・グループの定義に基づきます。

通貨別構成(為替取引前)*		合計93.3%
通貨名	比率	
米ドル	53.4%	
香港ドル	19.0%	
ユーロ	15.6%	
豪ドル	2.7%	
スイス・フラン	2.5%	

*現金等を除いた、株式の通貨別構成です。

株式 業種別構成		合計100.0%
業種名	比率	
金融	27.7%	
ヘルスケア	13.4%	
一般消費財・サービス	11.9%	
情報技術	11.4%	
資本財・サービス	9.5%	
生活必需品	9.3%	
エネルギー	6.7%	
素材	5.2%	
公益事業	2.8%	
電気通信サービス	2.2%	

※「株式 業種別構成」の比率は、株式ポートフォリオに対するものです。

組入上位10銘柄					合計21.3%
銘柄名	業種名	国・地域名	配当利回り	比率	
JIANGXI COPPER CO LTD-H	素材	香港	6.3%	2.5%	
GOLDMAN SACHS GROUP INC COM	金融	アメリカ	1.1%	2.3%	
APPLE INC	情報技術	アメリカ	1.5%	2.2%	
JPMORGAN CHASE & CO	金融	アメリカ	2.3%	2.2%	
BANK OF CHINA LTD-H	金融	香港	4.7%	2.0%	
CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	金融	香港	5.0%	2.0%	
LOCKHEED MARTIN CORPORATION	資本財・サービス	アメリカ	3.1%	2.0%	
ALLIANZ SE-REG	金融	ドイツ	4.9%	2.0%	
BOEING CO	資本財・サービス	アメリカ	2.3%	2.0%	
IND & COMM BK OF CHINA - H	金融	香港	5.1%	2.0%	

※「資産別構成」、「国・地域別構成」、「通貨別構成(為替取引前)」および「組入上位10銘柄」の比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※「株式 業種別構成」および「組入上位10銘柄」の業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

※組入ファンドの資産構成は基準価額への反映を考慮し、現地前営業日のデータを記載しています。

※ファンドの正式名称は、「ダイワ・プレミアム・トラストーミレアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド」です。

(通貨セレクト・クラス)取引対象通貨		合計100.0%
通貨	比率	
インド・ルピー	18.8%	
トルコ・リラ	18.4%	
ブラジル・レアル	17.2%	
インドネシア・ルピア	16.0%	
南アフリカ・ランド	15.3%	
ロシア・ルーブル	14.2%	

※「取引対象通貨」は、取引対象通貨のポジションに対するもので、純資産総額に対するものではありません。

＜市場環境＞

設定以降の世界の株式市場は、米国の好調な住宅関連指標や雇用関連指標が発表されたものの、FRB（米国連邦準備制度理事会）による早期の利上げ観測の高まりが株価押し下げ要因となりました。また、欧州においてもギリシャの債務協議に進展が見られないことや、域内の国債利回りの高止まりが嫌気されました。アジアにおいては、中国の金融緩和政策がプラス要因ではあるものの、中国株式市場の過熱感に対する当局の引き締め懸念や投資家の利益確定の動きなどが下押し材料となりました。

設定以降の為替市場では、米国の雇用統計が市場予想を上回ったことによる早期利上げ観測の高まりなどを受けて、米ドルやユーロが対円で堅調に推移しました。一方で、新興国通貨は対円で総じて軟調に推移しました。

＜運用経過・戦略＞

上記のような市場環境において、世界の株式の上値が重い状況が続いていることや新興国通貨が対円で総じて軟調に推移していることがマイナス要因となっておりますが、一方、米ドルが対円でおおむね底堅く推移していることがプラス要因となっております。

また、設定以降、個別株式のカバードコール戦略を実行し、オプション・プレミアムを確保し利回り水準の引き上げを図りました。

当ファンドでは、グローバル優良企業に着目し、好配当を生み続ける企業中心に投資しました。銘柄選定にあたっては、ミレーアセットが独自の視点により、時価総額や流動性等を勘案しながら、安定かつ持続的な配当の確保が可能で、今後利益成長による増配も見込まれる銘柄中心のポートフォリオを構築しました。

通貨セレクト・コースにつきましては、金利水準やリスク水準等を勘案し、6月12日時点で、インド・ルピー、トルコ・リラ、ブラジル・レアル、インドネシア・ルピア、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブルの6通貨を選定し、運用しています。また、取引対象通貨合計の比率はおおむね100%となっています。

＜市場見通しおよび今後の運用方針＞

短期的には、米国の利上げ観測やギリシャ問題などから値動きの荒い展開も予想されますが、中長期的には雇用情勢や個人消費など米国の好調なマクロ経済、ECB（欧州中央銀行）や中国人民銀行による緩和的な金融政策、欧州経済が改善傾向にあることなどが支援材料になり、市場は底堅く推移するものと思われます。

当ファンドでは引き続き、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行ってまいります。また、株主還元に積極的な企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当たり利益）やROE（自己資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目しています。

地域別では、マクロ経済状況が相対的に良好である米国の銘柄や、金融マーケットの制度改革によって外国人投資家からの資金流入が期待される香港の銘柄などに投資します。業種別では、米国の利上げに伴い貸出ポートフォリオの収益力向上が期待される金融セクター、好調な個人消費や労働市場から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクター、持続的に安定した利益成長が予想されるヘルスケアセクターなどに投資妙味があると考えます。

また、カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化にあわせてポートフォリオを構築し、インカムの上積みを目指してまいります。

以 上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

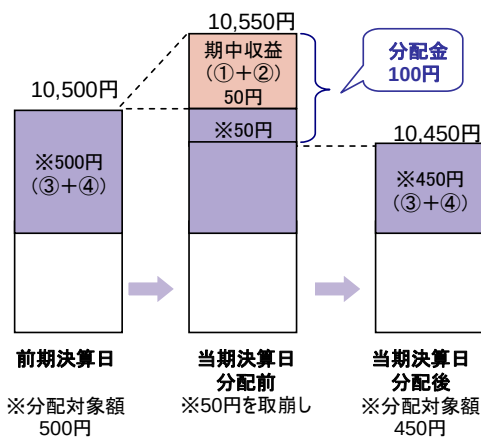
投資信託の純資産

分配金

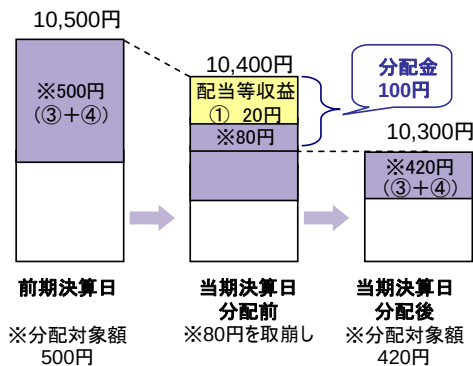
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



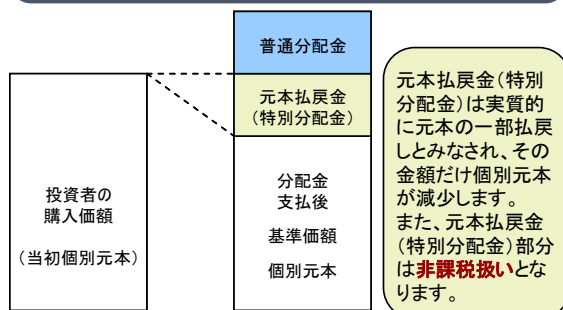
前期決算日から基準価額が下落した場合



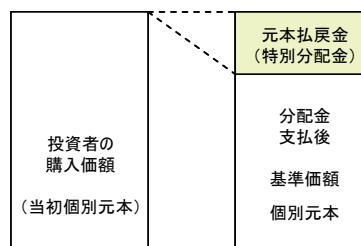
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

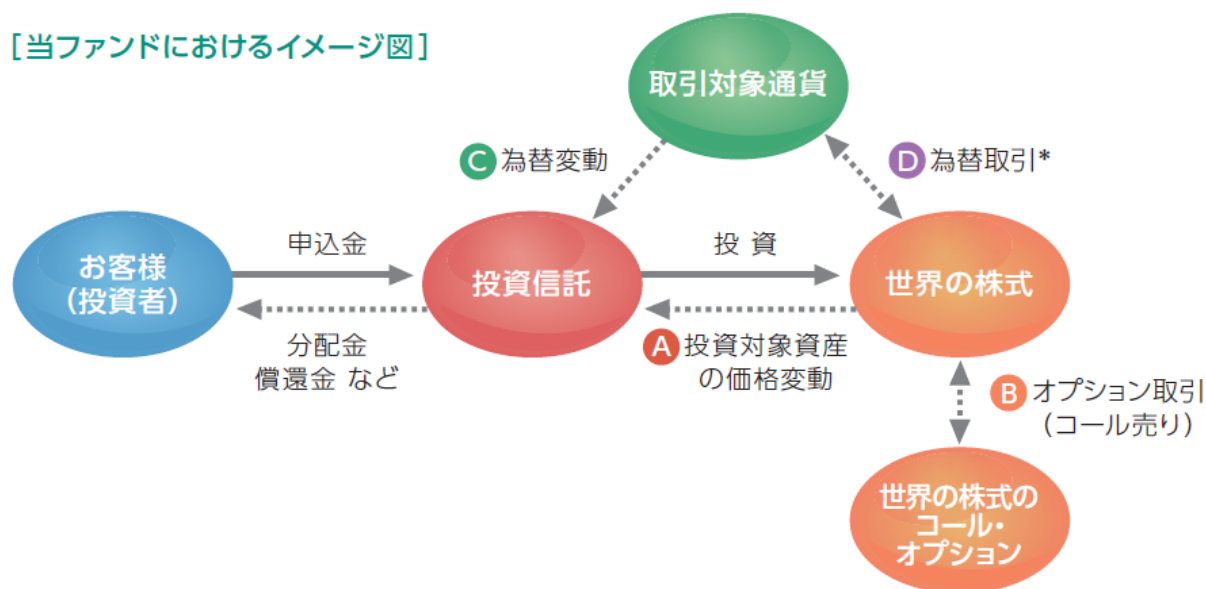
元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。
- 当ファンドでは、世界の株式に投資するとともに、オプション取引および為替取引を活用します。

[当ファンドにおけるイメージ図]



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の4つの要素が挙げられます。
これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	A	B	C	(注) D
	世界の株式の配当、 値上がり/値下がり	世界の株式の コール・オプション (売り)のプレミアム/ 権利行使価格を 上回る部分の損失	為替差益/差損	為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の 収益/費用)
収益を得られる ケース	権利行使価格を 上回る株価の上昇 ↑ 株価の上昇、 配当収入	コール・オプション (売り)のプレミアムの 受け取り ↑	・円に対して 取引対象通貨高 ↑ 為替差益の発生	取引対象 通貨の 短期金利 > 原資産 通貨の 短期金利 ↑ プレミアム (金利差相当分の収益) の発生
損失や コストが 発生する ケース	↓ 株価の下落 ・発行企業の経営不安、 倒産等	↓ 権利行使価格を 上回る部分の 損失の発生 ・権利行使価格を上回る 株価の上昇	↓ 為替差損の発生 ・円に対して 取引対象通貨安	↓ コスト (金利差相当分の費用) の発生 取引対象 通貨の 短期金利 < 原資産 通貨の 短期金利

(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

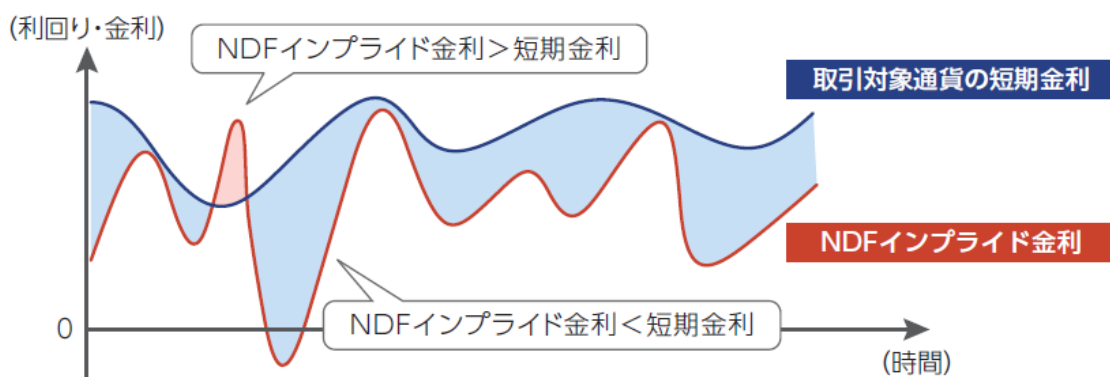
NDF取引を用いて為替取引を行なう際、為替取引によるプレミアム/コスト(金利差相当分の収益/費用)は、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- 取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

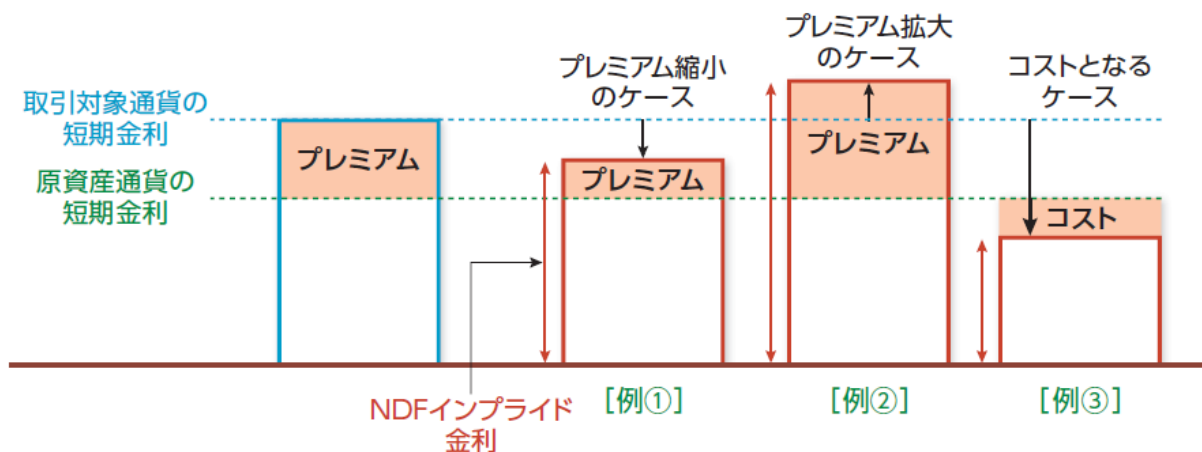
NDFインプライド金利と短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- 市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小[例①](拡大[例②])し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース[例③]もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型） 米ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ◆ 安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式に投資します。
 - ◆ 個別株または保有株の市場を代表する株価指数のコール・オプションを売却することで、カバードコール戦略を構築します。
 - ◆ 株式およびオプション取引の運用は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ・グループが行ないます。
2. 為替取引を活用します。
 - ◆ 当ファンドには次の3つのコースがあり、原資産通貨売り／取引対象通貨買いの為替取引を行ないます。
※原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

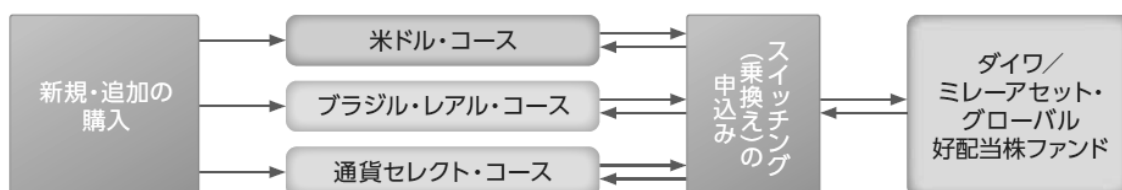
コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
 米ドル・コース	原資産通貨売り／米ドル買い	米ドル
 ブラジル・レアル・コース	原資産通貨売り／ブラジル・レアル買い	ブラジル・レアル
 通貨セレクト・コース	原資産通貨売り／選定通貨買い	選定通貨

- 各コースでは、保有資産について為替取引を行ないます。これにより、「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）」が生じます。
- 各コースでは、為替取引の対象通貨の対円レートの上昇（円安）／下落（円高）により、為替差益／為替差損が生じます。
- 「通貨セレクト・コース」において、選定通貨とは、以下の「通貨の運用方針」により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

「通貨の運用方針」

- 原則として、「シティ世界国債インデックス」および「JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット フロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。
※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。
- 選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- 選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

3. 毎月21日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
4. 各コース間、および「ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株ファンド」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。



※「ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株ファンド」の申込みにつきましては、当該ファンドの交付目論見書をご参照ください。

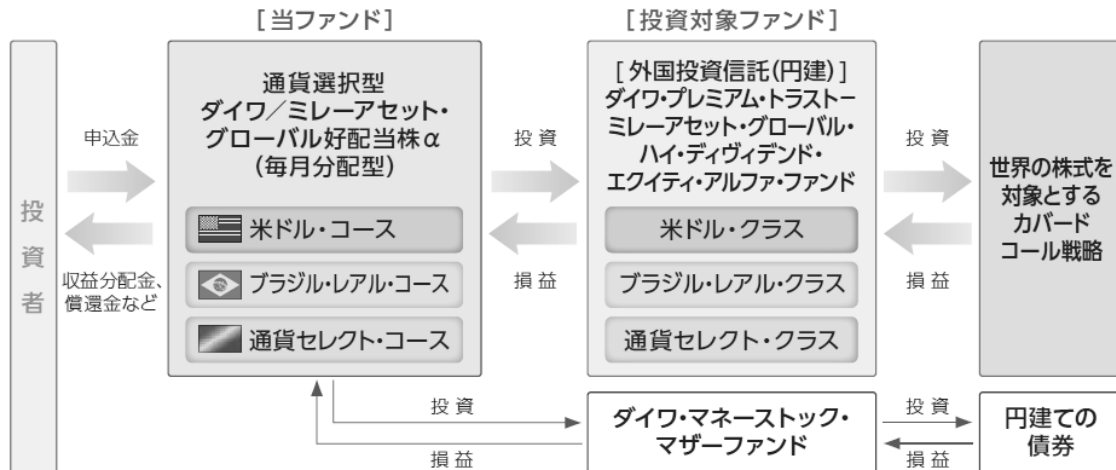
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型） 米ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

5. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

外国投資信託の受益証券を通じて、世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。



◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型）

米ドル・コース：米ドル・コース

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型）

ブラジル・リアル・コース：ブラジル・リアル・コース

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型）

通貨セレクト・コース：通貨セレクト・コース

◆各ファンドの総称を「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型）」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「カバードコール戦略の利用に伴うリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

※為替取引を活用して、取引対象通貨で実質的な運用を行なうことをめざしますが、投資対象資産の通貨である原資産通貨の為替変動リスクを完全に排除することはできません。

※取引対象通貨の金利が原資産通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型） 米ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24%（税抜 3.0%） スイッチング（乗換え）による購入時の申込手数料については、販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	0.20%	1 万口当たり換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.2744% （税抜 1.18%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	「米ドル・コース」、 「ブラジル・リアル・コース」 年率 0.70%程度 「通貨セレクト・コース」 年率 0.85%程度 この他に「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	「米ドル・コース」「ブラジル・リアル・コース」 年率 1.9744%（税込）程度 （純資産総額によっては上回る場合があります。） 「通貨セレクト・コース」 年率 2.1244%（税込）程度 （純資産総額によっては上回る場合があります。）	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

《ご参考》ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

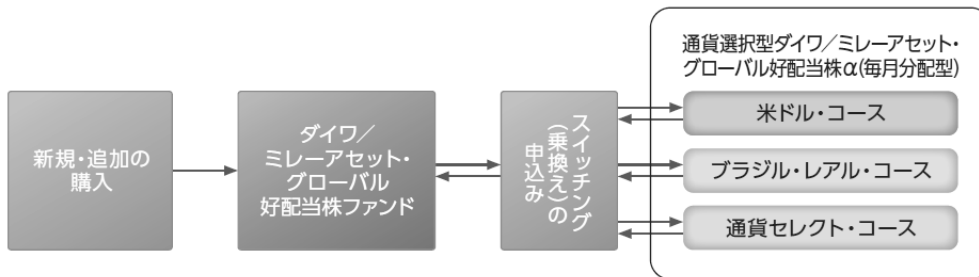
《参考》ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式に投資します。
株式の運用にあたっては、以下の点に留意します。
 - ◆ 世界の株式の中から、配当成長、配当性向、キャッシュフロー、財務状況、株価バリュエーション等を分析し、投資対象銘柄を選定します。
 - ◆ 投資対象銘柄の中から、時価総額、流動性等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 - ・ 株式の運用は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ・グループが行ないます。
2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・ マザーファンドは、「ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株マザーファンド」です。
3. 「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型）」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。



（注）「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型）」の申込みにつきましては、当該ファンドの交付目論見書をご参照ください。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《参考》投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

《ご参考》ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

《参考》ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24%(税抜3.0%) スイッチング（乗換え）による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.944% (税抜 1.80%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社：**大和証券**
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用：**大和投資信託**
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会